

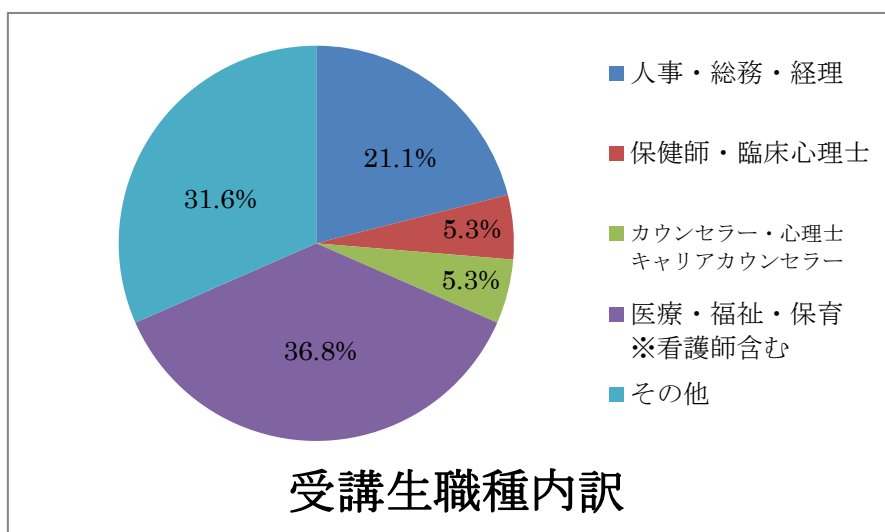
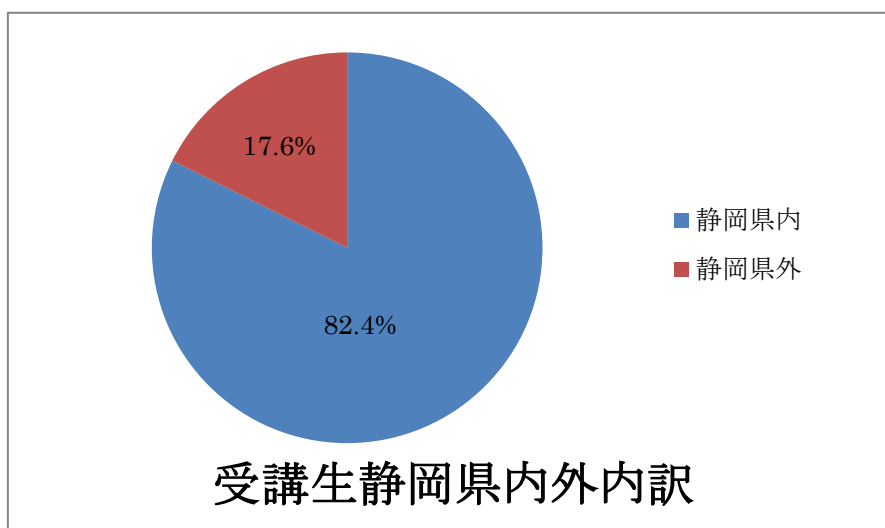
2017年度 EAPカウンセラー養成講座 受講者の声

- ◇EAPカウンセリングの概要がよくわかりました。
また、ウォーミングアップや自己紹介の時間を作っていただき、緊張が少しほぐれて和やかな雰囲気になれたのが良かったです。
- ◇初回面接でのラポール形成の大切さ、医療機関へのつなげ方等、演習を交えて実践、学習できたので、とてもわかりやすかったです。
- ◇産業医の役割りがわかりやすかった。医師の意見が1番というイメージであったが、現場を一番良く知っている職場の方々の情報・考えを尊重していくことは、会社側で解決していく力があることに気付いてもらい、意欲がわくことにつながると思った。
- ◇上司が部下に指導することは必要なことですが、相手にどう思われるかを気にしたり、どのように伝えてよいかかわからなかったりする上司がいて、問題が放置されていることもあるような気がします。EAPを知ってもらい、上司だけで対応するのではなくEAPも活用しながら問題解決が図れるように、もっとEAPが浸透するのいいと感じました。
- ◇労働契約や労働関連法規について、とてもわかりやすく全体を理解することができました。とりわけ、EAPカウンセラーの立場にたった時に必要な知識や国の流れについて習得できた事が良かったです。
- ◇セルフチェックシートは記入する本人も自分の状態を客観的に知ることができ、カウンセラーもクライアントの変化を確認することができるので大変有効であると演習を通して感じました。
個人に合わせたオーダーメイドの対応は、物凄く労力も必要であり、大変な業務ですが、やりがいのある仕事だと思います。
- ◇マインドフルネスの名前は聞いたことがあったが内容は知らなかったもので、理解でき良かった。ストレスがたまらないように自身のトレーニング、歩くこと、呼吸することがこんなにも意識すると大変なんだな、でもとても大切なことなんだなと分かった。これから自分にできることを見つけたい。
- ◇発達障害といっても色々なケースがあり、まず各個人の特性を理解するという事の大切さを感じました。それと同時に、発達障害に関しては、より専門的な知識を習得する必要があるというのを改めて感じました。ご紹介頂きました書籍も読んで、まずは知識を得ていきたいと思いました。
- ◇事例を用いた具体的なお話がとてもわかりやすかったです。管理職の方々は、普段何の価値判断も加えずに話を聴いてもらう場は少ないと思いますし、そういった場に抵抗感がある方もいるかもしれません。しかし、内省する機会をもつことが、管理職自身だけでなく部下にもよい影響を与えるのではないかと考えると、話を聴いてもらう場をもつことはとても大切なことだと思いました。

◇集団分析の活用は、自分が勤務するところでも課題になっています。ストレス度の高いところへの介入ではなく、ストレス度の低いところの分析をして、そのやり方を共有するという手法は参考になりました。

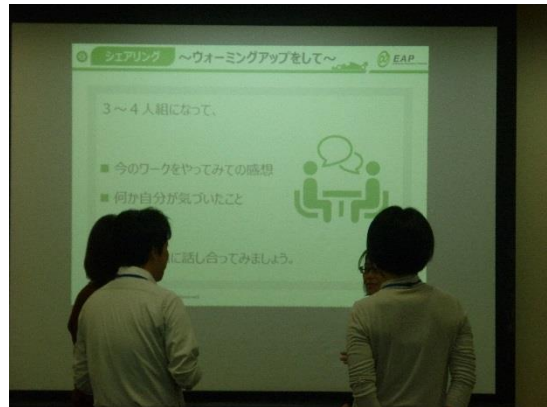
◇職場の環境を良くするという事を目標として本講座に参加しましたが、この講座で、具体的事例をもとに勉強になりました。先生から振り返りの時間にも貴重なお話を伺う事ができ、とても勉強になりました。

EAPカウンセラー養成講座参加者内訳



※キャリアコンサルタントの資格をお持ちの方に比較的多くご受講いただきました。

EAPカウンセラー養成講座風景



EAPカウンセラー養成講座レポート

日頃より相談業務を行っている方やキャリアコンサルタントの資格保持者で自己研鑽の目的で受講するといった方が比較的多くいらっしゃいました。

また、EAPを導入したがEAPの仕組みや効果など、人事担当者として理解しておきたいといった「EAP導入後の活かし方」について本講座を通じて理解される方もいらっしゃいました。

ストレスチェック制度が3年目に入り、多くの企業から「個人と組織に対する具体的な対処法が分からず、ストレスチェックをやりっぱなしになっている」という声が聞かれます。本講座で個人と組織への対応方法についてご理解いただければと存じます。

EAPカウンセラー養成講座事務局 担当：三輪